



受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）」は、2014年12月8日に第87期決算を行いました。

当ファンドは、新興国の現地通貨建て債券に実質的に投資を行い、中長期的な観点から、安定的なインカム・ゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として積極的な運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに謹んで当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第87期末（2014年12月8日）

基準価額 6,855円

純資産総額 730百万円

第82期 ～ 第87期

騰落率 9.9%

分配金(税込み)合計 150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 基準価額および分配金は1万円当たりです。(以下同じ)

○2014年12月1日施行の法改正に伴い、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」の2種類になりました。本書は「運用報告書（全体版）」から重要な事項を抜粋して記載した「交付運用報告書」です。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス (<http://www.barings.com/jp>)

⇒「個人のお客様」を選択

⇒「投資信託情報」を選択⇒「投資信託一覧」を選択

⇒当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択

交付運用報告書

ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）

（愛称）あすなる

追加型投信／海外／債券

第82期（決算日2014年7月8日） 第85期（決算日2014年10月8日）

第83期（決算日2014年8月8日） 第86期（決算日2014年11月10日）

第84期（決算日2014年9月8日） 第87期（決算日2014年12月8日）

作成対象期間（2014年6月10日～2014年12月8日）

運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリング投信投資顧問株式会社 営業本部

電話番号：03-3501-6381

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

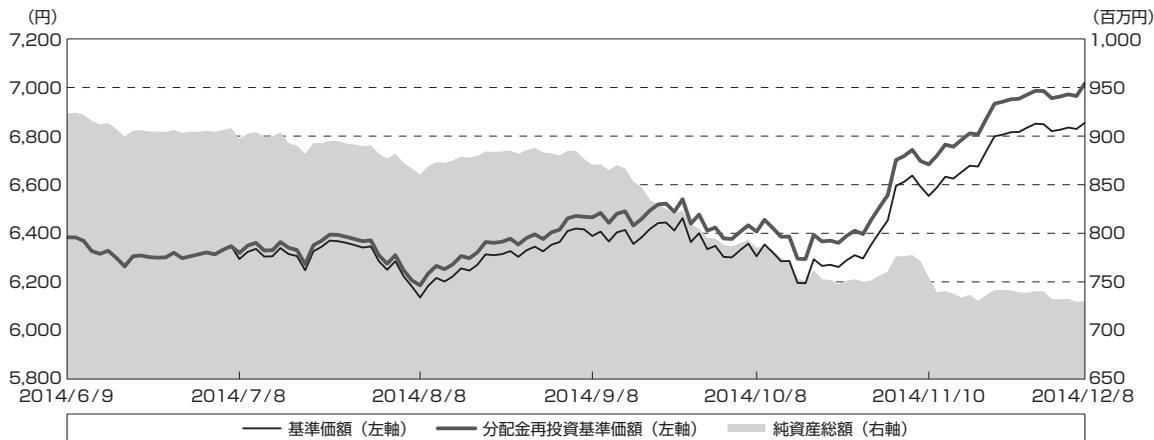
ベアリング投信投資顧問株式会社

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー12階

<http://www.barings.com/jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移 (2014年6月10日～2014年12月8日)



第82期首：6,384円
 第87期末：6,855円 (既払分配金：150円)
 騰落率：9.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 作成期間とは、表紙記載の作成対象期間を示します。(以下同じ)
 (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。(以下同じ)
 (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2014年6月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 上記既払分配金は、作成期間中の分配金(税込み)合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング新興国債券マザーファンド」における当作成期間の基準価額の騰落率は10.8%の上昇となりました。

上昇要因

インドネシアルピアやトルコリラ等の投資対象通貨が円に対して上昇したことや、ポーランド等での金利低下により組入債券の価格が上昇したこと、また保有債券からの利子収入等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

メキシコやブラジル等での金利上昇により組入債券の価格が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細（2014年6月10日～2014年12月8日）

項 目	第82期～第87期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	50円	0.775%	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.373)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0.381)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	14	0.216	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.159)	資産を海外で保管する場合の費用
（監査費用）	(2)	(0.037)	ファンドの監査にかかる費用
（信託事務の諸費用）	(1)	(0.020)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用
合 計	64	0.991	
作成期間中の平均基準価額は、6,436円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、保管費用および信託事務の諸費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は作成期間末の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

最近5年間の基準価額等の推移 (2009年12月8日～2014年12月8日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2009年12月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2009年12月8日 決算日	2010年12月8日 決算日	2011年12月8日 決算日	2012年12月10日 決算日	2013年12月9日 決算日	2014年12月8日 決算日
基準価額 (分配落ち) (円)	6,883	6,325	5,286	5,612	6,219	6,855
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	405	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△1.2	△9.5	14.5	16.2	15.6
純資産総額 (百万円)	2,044	1,720	1,134	1,020	941	730

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境（2014年6月10日～2014年12月8日）

当作成期間の現地通貨建て新興国債券市場は、世界的なリスク選好度の高まりや割安な水準感、また、新興国の経済ファンダメンタルズが一般的に堅調に推移していることが支援材料となって、多くの市場において堅調な展開で始まりました。その後、米国の経済成長率が予想を上回ったことが金融緩和策縮小に対する市場の懸念を増幅させました。このため、米国の金融緩和策縮小により、資金の流出など負の影響を受ける可能性がある新興国の債券市場や通貨市場に対する不透明感が増す展開となったことや、さらに市場の注目を集めていた米国の金融政策について、利上げのタイミングなどの行方が懸念材料となり、新興国債券市場は軟調に推移しました。当作成期間の後半にかけては、多くの新興国の債券市場は、世界的にインフレが落ち着いていたことを背景に上昇に転じました。特に、2014年10月に中央銀行が政策金利の引下げを行ったポーランドの債券市場は総じて堅調で、当作成期間を通じて上昇しました。一方、メキシコの債券市場は、2014年9月にメキシコ中央銀行が国内経済の回復が続くとの見方を示したことや米連邦公開市場委員会（FOMC）に対する警戒感の高まりなどが金利の上昇要因となり、当作成期間の後半にかけて軟調に推移しました。また、ブラジルでは、経済指標が不調だったことから金利が低下する局面もありましたが、当作成期間の後半での大統領選挙の動向や経済政策に対する不透明感が強まったことなどから金利は上昇し、当作成期間を通じてみると債券市場は下落しました。なお、ロシアについては当マザーファンドでは保有していませんが、原油価格の下落が悪材料となり、作成期末にかけて、債券と通貨が共に下落しました。

当作成期間における為替市場では、新興国通貨は、インドネシアルピア、トルコリラなどが円に対して上昇しました。また、2014年10月末に日銀により予想外の追加金融緩和が発表されたことを受けて、円が主要通貨に対して下落したことから、多くの新興国通貨が円に対して上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ（2014年6月10日～2014年12月8日）

<ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）>

当作成期間を通じて、「ベアリング新興国債券マザーファンド」受益証券の組入比率を比較的高位に保ちました。具体的な運用経過等につきましては、下記当マザーファンドの運用経過をご参照ください。

<ベアリング新興国債券マザーファンド>

当作成期間における当マザーファンドの基準価額の騰落率は10.8%の上昇となりました。財政改善期待の高まりや利上げが実施されたインドネシアルピアやトルコリラ等の投資対象通貨が、日銀の追加金融緩和策なども背景に円に対して上昇したことや、政策金利の引き下げが期待されたポーランドの債券市場が堅調に推移し、組入債券価格が上昇したことが、基準価額にプラスに寄与しました。

当作成期間における組入債券の通貨配分については、ブラジルレアルの組入比率を引き下げましたが、引き続き組入れ首位としました。また、通貨が円に対して堅調であり、債券も割安で推移しているトルコリラの組入比率を引き上げました。債券の種別配分では引き続き国債のみの組入れとなりました。当作成期間における売買については、ブラジル、ハンガリー国債等を解約資金充当のため一部売却する一方、トルコ国債の追加購入を行い、トルコの組入比率を引き上げました。

【組入債券の種別構成】

作成期首 (2014年6月9日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	95.3

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2014年12月8日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	89.3

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

作成期首 (2014年6月9日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	ブラジルリアル	23.1
2	ハンガリーフォリント	18.8
3	インドネシアルピア	16.0
4	メキシコペソ	13.9
5	トルコリラ	12.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2014年12月8日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	ブラジルリアル	17.2
2	トルコリラ	16.7
3	インドネシアルピア	16.5
4	メキシコペソ	15.7
5	ポーランドズロチ	13.0

【組入債券の上位5銘柄】

作成期首 (2014年6月9日現在)

No.	銘柄名	クーポン (%)	償還日	国 (地域)	比率 (%)
1	ブラジル国債	10	2017年1月1日	ブラジル	23.1
2	インドネシア国債	10.75	2016年5月15日	インドネシア	16.0
3	ハンガリー国債	6.75	2017年2月24日	ハンガリー	15.7
4	メキシコ国債	6.5	2022年6月9日	メキシコ	13.9
5	トルコ国債	11	2014年8月6日	トルコ	12.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2014年12月8日現在)

No.	銘柄名	クーポン (%)	償還日	国 (地域)	比率 (%)
1	ブラジル国債	10	2017年1月1日	ブラジル	17.2
2	トルコ国債	10	2015年6月17日	トルコ	16.7
3	インドネシア国債	10.75	2016年5月15日	インドネシア	16.5
4	メキシコ国債	6.5	2022年6月9日	メキシコ	15.7
5	ポーランド国債	5.75	2022年9月23日	ポーランド	13.0

当ファンドのベンチマークとの差異 (2014年6月10日~2014年12月8日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金（2014年6月10日～2014年12月8日）

第82期から第87期の分配金については、基準価額の水準、市況動向等を勘案して1万口当たりそれぞれ25円（税込み）を分配させていただきました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2014年6月10日～ 2014年7月8日	2014年7月9日～ 2014年8月8日	2014年8月9日～ 2014年9月8日	2014年9月9日～ 2014年10月8日	2014年10月9日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月8日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.396%	0.406%	0.390%	0.395%	0.380%	0.363%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	283	290	305	312	331	343

（注）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）>

「ベアリング新興国債券マザーファンド」受益証券を高位に組入れ、中長期的な観点から、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として運用を行う方針です。

<ベアリング新興国債券マザーファンド>

短期的には、世界経済の回復状況や市場の注目が集まっている米国をはじめとした主要国の金融政策の動向により、現地通貨建て新興国債券市場の動きが左右される展開が想定されます。しかしながら、多くの新興諸国の経済ファンダメンタルズの状況は、先進諸国のものより優れており、また、新興諸国の債券や通貨は、魅力的な水準で推移していることから、中長期的には、現地通貨建て新興国債券市場に対する明るい見通しを維持しています。したがって、不透明感が増す局面では、短期的に現地通貨建て新興国債券市場が軟調に推移する局面も想定されますが、中長期的には底堅く推移するものと考えています。このような見通しのもと、比較的ファンダメンタルズの優れた中南米や欧州新興国の国債が魅力があると見ており、引き続き、中南米や欧州新興国の国債を中心とした現在のポートフォリオを維持する方針です。また、当マザーファンドは金利変動による影響を抑えるために、償還までの期間が短めの債券への投資比率を厚めに維持していく方針です。

お知らせ

<約款変更について>

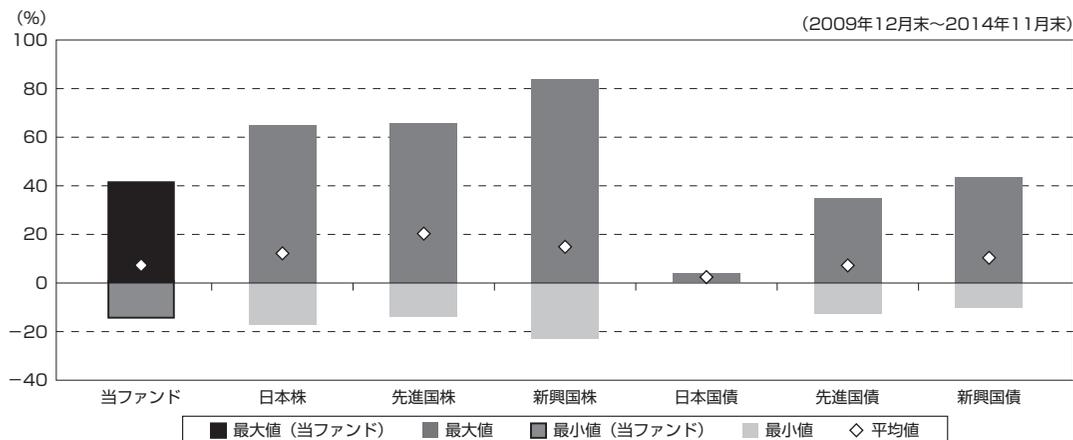
- ・当ファンドの信託財産規模および当ファンドの商品性の維持に鑑みて、信託期間を無期限から有期限（2015年12月7日（該当日が国民の祝日となった場合は翌営業日）まで）に変更し、また、当該有期限までに運用の更なる継続が受益者にとって望ましいと判断される場合には受託者と協議のうえ信託期間を延長できる規定を設ける旨の変更を受益者の皆様にご提案した結果、異議申出のあった受益者の受益権の口数が、受益権総口数の二分の一を超えなかったため、信託約款に所要の変更を行いました。（2014年11月11日）
- ・受託会社の利害関係人との取引に資金の借入れ条項を追加するため信託約款に所要の変更を行いました。（2014年12月1日）
- ・2014年12月1日の法改正に伴い、運用報告書は「交付運用報告書」（本書）と「運用報告書（全体版）」の2種類となりました。「運用報告書（全体版）」については電磁的方法により提供するため、信託約款に所要の変更を行いました。（2014年12月1日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	信託期間は2007年6月29日から2015年12月7日です。なお、受益者に有利であると認めるときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運 用 方 針	主としてベアリング新興国債券マザーファンド受益証券に投資を行い、中長期的な観点から、安定的なインカム・ゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	ベアリング新興国債券ファンド(毎月決算型)	ベアリング新興国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング新興国債券マザーファンド	新興国の政府、政府機関、もしくは企業が発行する現地通貨建て債券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	<ol style="list-style-type: none"> ①主としてベアリング新興国債券マザーファンド受益証券を通じて、新興国の現地通貨建て債券を主要投資対象とします。 ②毎月の分配を目指します。 ③為替変動リスクに関しては、原則として外貨建て資産について円に対する為替ヘッジは行いません。 ④ベアリング新興国債券マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用指図に関する権限を委託します。 ⑤マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を保つことを原則とします。ただし、資金動向等によっては組入比率を引き下げることもあります。 	
分 配 方 針	毎決算時に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額を分配の対象とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定いたします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.9	65.0	65.7	83.9	4.1	34.9	43.7
最小値	△14.6	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	7.4	12.3	20.4	14.9	2.3	7.3	10.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2009年12月から2014年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

(注) 詳細は最終ページをご参照下さい。

当ファンドのデータ

組入資産の内容 (2014年12月8日現在)

○組入上位ファンド

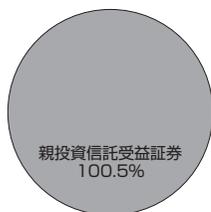
ファンド名	第87期末
	%
ベアリング新興国債券マザーファンド	100.5
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

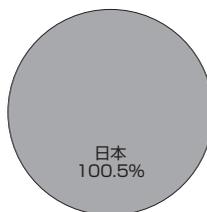
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

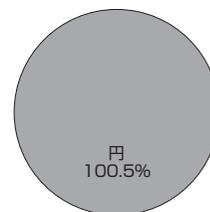
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

純資産等

項目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
	2014年7月8日	2014年8月8日	2014年9月8日	2014年10月8日	2014年11月10日	2014年12月8日
純資産総額	897,249,018円	860,457,560円	870,728,529円	785,179,837円	754,898,329円	730,326,890円
受益権総口数	1,425,512,467口	1,402,326,424口	1,362,823,799口	1,245,191,936口	1,151,795,137口	1,065,372,394口
1万口当たり基準価額	6,294円	6,136円	6,389円	6,306円	6,554円	6,855円

* 当作成期間中(2014年6月10日~2014年12月8日)における追加設定元本額は24,184,433円、同解約元本額は405,206,044円です。

組入上位ファンドの概要

ベアリング新興国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2013年6月11日～2014年6月9日)



【1万口当たりの費用明細】

(2013年6月11日～2014年6月9日)

項目	当期
(a) 保管費用等	33円
合計	33

(注) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

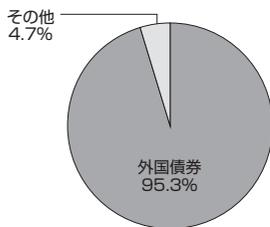
(注) 円未満は四捨五入しています。

(注) 保管費用等には、信託事務の諸費用を含みます。

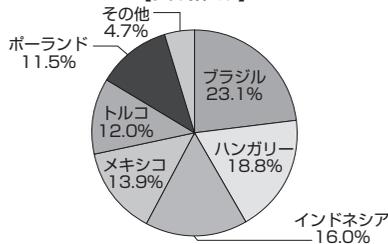
【組入上位10銘柄】

	銘柄名	クーポン (%)	償還日	国(地域)	比率 %
1	ブラジル国債	10	2017年1月1日	ブラジル	23.1
2	インドネシア国債	10.75	2016年5月15日	インドネシア	16.0
3	ハンガリー国債	6.75	2017年2月24日	ハンガリー	15.7
4	メキシコ国債	6.5	2022年6月9日	メキシコ	13.9
5	トルコ国債	11	2014年8月6日	トルコ	12.0
6	ポーランド国債	5.75	2022年9月23日	ポーランド	11.5
7	ハンガリー国債	8	2015年2月12日	ハンガリー	3.1
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数			7銘柄	

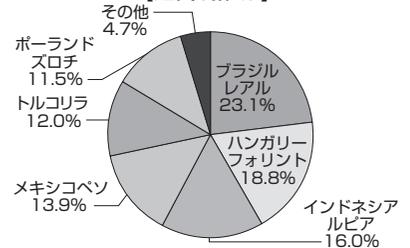
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2014年6月9日現在のものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

(注) 通貨別配分は組入債券にかかる通貨別構成比です。

○代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数

日本株－東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株－MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株－MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債－NOMURA－BPI国債

先進国債－シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債－JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA－BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。